

国立大学法人 長岡技術科学大学
平成30年度第5回経営協議会議事要旨

日 時 平成31年3月15日（金）12時55分～14時50分
場 所 KKRホテル東京 平安
出席者 東議長、天羽委員、池田委員、大貝委員、五味委員、谷口委員、鎌土委員、
三上委員、秋山委員、佐藤委員、中出委員、大石委員
(議事の表決委任による出席 磯田委員、合田委員、関委員、中野委員、トラン委員)
陪席者 齋藤監事、滝上監事、和田附属図書館長
事務局 総務部長、大学戦略課長、企画・広報室長、総合情報課長、総務課長、財務課長、
監査室長、総合情報課課長補佐、総務課課長補佐、財務課課長補佐、
総務課総務係長、総務課総務係員

議事に先立ち、平成30年度第4回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

審議事項

1. 2019年度年度計画について

鎌土委員から資料1に基づき説明があり、審議の結果、軽微な修正については学長に一任することとした上で、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。(○：学外委員からの質問、意見等 ●：学内委員からの回答)
○年度計画案に、検討を掲げている項目については、具体的な内容を盛り込みながら記載したほうが良い。

○年度計画【09-01-2】に「離職者についての調査結果を踏まえて」とあるが、離職者はどのくらいか。

●全国の平均は30パーセントくらいであるが、本学は5%程度である。

○その理由は、どのように考えているか。

●本学の特色である実務訓練制度が効果的で、長期にわたり企業での経験を積めることなどが、就職活動時のマッチングなどに活かされていると考えている。

○多くの年度計画があるが、大学として強化すべき項目など、整理することができないか。

●第3期中期計画は既に文部科学省に届け出ており、それに対して年度計画を立てている。

様式も決まっており、年度計画を作成する中でまとめられる計画など、項目を絞っているところである。

○年度計画は様式が決まっているが、実績報告の説明を行う際の資料では、わかりやすい記載による効果が期待できる。

○年度計画【04-01-3】に卓越大学院の年度計画を立てられたが、中期計画の変更をしなくてよかったか。

●文部科学省に確認したところ、中期計画中に該当する事項の記載があり、年度計画で対応ができれば、特に変更の申請は必要がなく、大学の判断になるとの回答を得た。

本学では、5年一貫制博士課程の中期計画の中で、年度計画を立てて進めていくこととした。

2. 2019年度長岡技術科学大学予算編成について

秋山委員から資料2-1～2-5に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

また、参考資料1～3に基づき、2019年度政府予算案の本学関係予算について、報告があった。

○参考資料3の本学の重点支援の評価結果中で、評価項目①「評価資料の精選」ではCの項目があるが、理由を分析しているか。

●文部科学省からは、その項目の評価指標を設定する上で、その指標が他大学と比較できるベンチマークが不明確であるとの指摘を受けた。

3. 2019年度資金運用方針について

秋山委員から資料3に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

4. 国立大学法人長岡技術科学大学自己評価規則の改正について

鎌土委員から資料4に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

報告事項

1 大学機関別認証評価について

鎌土委員から資料5に基づき、2019年度に受審する大学機関別認証評価の概要説明及び今後のスケジュール等について報告があった。

2 外部評価委員会における評価について

鎌土委員から資料6に基づき、平成30年12月に開催された外部評価委員会の評価結果について、報告があった。

主な質疑応答は以下のとおり。（○：学外委員からの質問、意見等 ●：学内委員からの回答）

○地域連携、新産業創出の観点では、具体的なKPIとロードマップを作成し、目標をもって実施してもらいたい。

○本学が新潟県全体の中心的な役割を担って、産業振興を進めてほしい。

●全国の高専との連携、世界のものづくり地域のネットワークを活かして、リーダー的な役割を自覚し、進めていきたい。

3 2019年度長岡技術科学大学執行部等について

学長から資料7に基づき、2019年4月以降の執行部等の体制について、報告があった。

以 上